

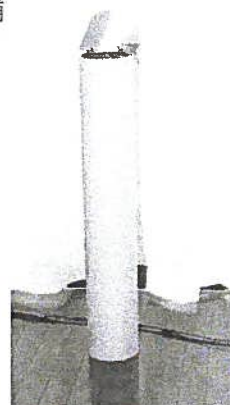
foobar2000 の Convolver 補正による DCU-F131W ポールスピーカー

1. 概要

PC オーディオプレーヤの foobar2000 に File>Preference>DSP Managerno DSPs に Convolver というオプションがあります。これは周波数や位相を含めた補正を一括して行う事ができる処理で、実測データを基に計算した補正ファイルを用意できれば FIR による特性補正が出来ます。

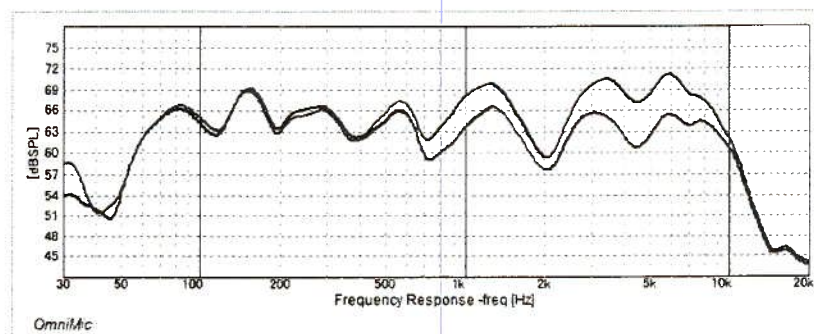
2. 使用機器

PC foobar2000、ASIO driver
DDC UDA (electro art)
AMP Rasteme RSDA302P x2
SP PARC DCU-F141W (15cmφX 90cm H ボイド管)
スリットバスレフ (Fs 約60 Hz)



3. 特性

室内70cm ユニット高さの真横反射板正面



元々このユニットは高域が少し上がり気味で、反射板を付けたためにサイドからでも高域がやや強い(黒線)。

omniMIC にて裸特性のゲイン、位相特性をとり、それを元に rePhase で補正ファイルを計算する。それを foobar の File>Preferences>DSP Manager から convolver を起動し補正ファイルを入れてフラットに近づけた(紫線)。データはその前に resampler で 96kHzfs に変換しておく。

補正ファイル仕様

taps 13810 T
rate 9600 Hz
format 32bit IEEE stereo WAV